

しおさいかわら版

9月全体会議

9月21日(木)にまちづくりステーション小名浜で9月全体会議が開催されました。「太平洋クラブが語る小名浜の未来」と題し、太平洋クラブ(小名浜選出市会議員の会)の6名に、それぞれが考える小名浜の未来についてお話しいただきました。



最初に、田頭弘毅氏。田頭氏は小名浜にコンベンションセンターを作り、大規模イベントなどで若い人が集まるまちにしたい、そして、世界大会などを誘致したいと、よく通る声で大きな夢を語りました。次に坂本康一氏。坂本氏は高齢者に目を向けます。少子高齢化社会のなか、一人暮らしの高齢者が増えていますが、そうした高齢者の独りぼつちをなくすために、人が集える施設を作ることが必要だと。そしてそれは災害に強いまちを作ることに。日頃からのつながり、人々のつながりこそが大切で、そうした「つながり」が災害などいざというときにだれかの命をつなぐ。坂本氏はそう語っていました。

続いて小野潤三氏からは小名浜の特性を生かしたまちづくりの提唱が。小名浜といえればやはり「みなとが顔」となりますが、小名浜港の強みである石炭輸送力や工業力を活かして海からまちへ活力を伝えること、そして昭和初期の白たすき隊の例を引きながら、小名浜人の特性に「進取の気性を活かし、イノベーションを一步一步進めることなどについて、小野氏の姿勢が伝わってくるようなお話がありました。また、漁業などの小名浜の文化を継承していきたい」とも。

大友康夫氏は、居住空間を充実させ・人材育成をしていくという所信を述べられました。若者がいきいきとするまち、若者が戻ってくるまちをつくるために、地域の産業を活性化する手伝いをしたいと語る大友氏は、具体案として若者が起業するための補助制度の整備を挙げました。加えて、医師不足を打破する為に、子供のうちから未来の医師を育てる仕組みについても言及し、人材育成の重要性を説くのでした。

最後は佐藤和良氏。佐藤

発行所
小名浜まちづくり
市民会議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
平成29年10月20日

氏は小名浜まちづくり市民会議の活動に触れ、市民会議が今までに何が出来て何が出来なかつたかを検証しながら、新しい「海と港湾を活かしたまちづくり」の構想を練るべきだと出席者に訴えました。公民館などを含む複合型施設を作る為に、ポイントを絞っての中心市街地活性化をしていきたい。自治力・地域力を強くしていきたい。そうした主張も含め、市民会議のブランドデザインとも通じる佐藤氏のお話でした。

出席者にとつて、短い時間ながらも、地元から選出された市会議員それぞれの小名浜への思いを直接聞くことができる有意義な全体会議となりました。



人力戦艦!? 汐風澤風 第2章 上映会

9月9日(土)アクアマリンパークにて、人力戦艦!? 汐風澤風の第二章が上映されました。夕方からの上映にもかかわらず、200人近い人たちが来場し会場は賑わっていました。

ストーリーは小名浜港に沈んだ駆逐艦、汐風澤風が復活し、異界の生物から海を守っていくというお話です。主人公の地元の高校生、草野心平が汐風澤風たちと一緒に戦っていく様は、とても迫力ある映像です。特に汐風澤風が思念体から戦

艦に変身し登場するシーンは、さすがガイナックスと思わず言ってしまうくらいともカッコイイ映像で、臨場感溢れワクワクする瞬間でした。しかし、カッコいいだけじゃないのが第二幕の見所でもあります。少し天然で妖艶な澤風と反対に冷静かつ真面目な汐風に翻弄される心平の高校生らしい様がコミカルに描かれている面白さも見所です。汐風澤風と共に戦う心平の今後がさらに気になります。



©小名浜まちづくり市民会議/福島ガイナックス

小名浜まちづくり市民会議 会員の皆様へ 10月全体会議 開催のお知らせ

10月26日午後6時30分より、まちづくりステーション小名浜3階において、10月全体会議を開催します。今月は小名浜まちづくり市民会議副会長の川田政雄氏から「ランドデザインの再整備」についてお話しいただきます。会員の皆様はお誘い合わせの上是非、ご参加ください。日時、会議内容など変更する場合がございますので詳しくは小名浜まちづくり市民会議(52-1275)までお問い合わせください。

世界水族館会議プレイベント開催

来年の11月5日からアクアマリンふくしまで世界水族館会議が開催されます。この会議は世界中の水族館関係者や研究者が集う学術会議で、期間中500名を超える参加者が集まる大きな大会です。



この世界会議を小名浜全体で盛り上げていくため、今年からプレイベントを開催しています。今年の夏休み頃は、巨大迷路とサンドアート体験広場を設置し、ロングランでの参加者体験型PRを実施しました。また、



た、9月9日〜10日にかけては、世界会議が開催された都市のグルメを食するイベントを開催。ケープタウンやバンクーバーなど世界の料理を再現すると共に、開催地小名浜のカジキグルメも紹介。両日で25,000人の入込客数を記録する大きな賑わいとなりました。開催年となる来年は、アクアマリンパークでのイベントを始め、まちなかでも歓迎イベントを実施する予定です。世界会議の参加者の皆様を始め、小名浜の方々にも参加いただける企画を考えておりますので、ご期待！

汐風竹町フェスタ

現在 汐風竹町フェスタが小名浜地区商連、小名浜スタンプクラブを中心に開催中です。汐風竹町フェスタは大きく4つのイベントで構成されます。

- ①7月15日(土)花いっぱい運動
側ポケットパーク
- ②9月16日(土)15:00
中井 靖司氏の地域活性セミナー
「これからの小名浜へ」リスポホール
同日 16:10
リスポ3階にての屋上ビアパーティー
- ③10月8日(日)10:00~16:00
汐風ペDESTリアンフェス
汐風竹町通り歩行者天国
「本まち通り芸術祭」9日(月)も開催
「シオカゼマルシェ」

8日はリスポ、9日は北側ポケットパーク

④2018年2月4日(日)
10:00~16:00
のみの市 汐風竹町通り歩行者天国

の4つです。
本紙発行時点で10月20日以前のセミナー・イベントは終了していますが、リスポから継承される来年2月4日の「のみの市」にぜひご来場ください。



小名浜学事始め

『北辰真武一刀流 師範若松誠三郎』

小名浜生まれの作家・吉野(旧姓若松)せい(明治32年生まれ)が、昭和52年11月4日(享年78歳)で亡くなって40年になります。せいには、姉と兄がおり、父親がせい6歳の時に亡くなってからは母の行商と針仕事で生計をたてていたようです。その頃、祖父・誠三郎は病気を患っていました。が、戊辰戦争の折は、曾祖父・鉄五郎と

ふと気が付くと今年もあと2か月と少し。この1年で小名浜は変わったのでしょうか。

ゆかりの囁き



小名浜マリンプリッツが完成し、イオンモールが巨大な姿を鮮明にし始め、鹿島街道も整備のピッチを早めてきています。イオンモールから延びる3つのペDESTリアンデッキが完成し、バスターミナル、タクシー乗り場も整備を終えてその使用開始を待っています。エリアの景観は少しずつ

もに新政府軍に随い、中通りまで案内をするなど活躍した人物です。剣術を極め、多くの門人がいました。小名浜リスポの西隣りにある地福院常福寺の山門をくぐると、左側に「北辰真武一刀流師範、若松誠三郎源尚之翁碑」があります。



◀ 地福院常福寺にある碑

整い、震災前の姿は思い出しにくくなっている状況を見ると、やはり小名浜は変わりました。ただ、ハードが整えられてもソフトが付いてこなければ、まちなかには生まれません。交流人口や定住人口が増えるまちなかへ、「ここからが始まり」として、出来上がったハードを活用し、その継続的なメンテナンスを通して「活気ある小名浜」を再現できるようにしていくことを決意する時に来ているようです。「持続可能なまちづくり」の仕組みを私たちの手で創り上げていきましょう。(著・F・O)

小名浜まちづくり市民会議とは...

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、いいね！してください。

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんと一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？
年会費 個人会員：3000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円
お問い合わせ・お申し込み：いわき市小名浜字本まち 11-1 (まちづくりステーション小名浜)
TEL：52-1275 FAX：52-1415
http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp

会員募集

